

1 施設の充実

意見交換内容

【店舗での取組】

- ・ WEラブ赤ちゃんプロジェクトの「泣いてもかましまへん」というやさしい雰囲気が産後のお母さんや、子連れのお父さんにはありがたいので、広がって欲しい。
- ・ 市内の店舗や施設でステッカーが貼られているお店をあまり見ない。または気が付かない。
- ・ 貼ってあるお店などは、子ども連れにも寛容な姿勢であるということからも、利用が進むのでは。やはり子育て中はそういうお店に行きたい。
- ・ 貼ってあるお店が分かったりするといい。知らないから行く場所が固定されがちにもなる。
- ・ このプロジェクトを作られた方の思いなどが届くように、二次元コードをステッカーに付けてもいいのではないかな。
- ・ キッズフレンドリー施設について知られていない。広がっていくといい。
- ・ カフェでも頼めば、ミルク用のお湯を準備したり、哺乳瓶も洗ってくれたりするところもある。
- ・ 取り組んでいる施設の場所などが分かるといい。
- ・ 取り組んでいることが目で見たり分かりやすいことが求められる。
- ・ お店同士が繋がって、一つの目標に取り組むことで地域がよくなるという。

【子どもの遊び場】 (※市が検討・取り組んでいく事項として整理)

- ・ 子どもが室内で体を動かして遊ぶことができる場所 (例：あやっこひろば等) が市内にはない。ただ、企業がそういった施設をつくり、運営するというのは、事業として成立しないと考える。
- ・ 雨の日は、児童館に行ったりしていた。公民館や児童館が利便性良く活用できるといいと思う。ただ、エアコンの整備が必要。

宣言に盛り込む取組

「子育てにやさしい店舗・施設をめざそう」

- ① WEラブ赤ちゃんプロジェクトへの賛同
- ② キッズフレンドリー施設登録

2 安心の職場環境

意見交換内容

【意識】

- ・ あくまで子育ての関係では、母親が休むという認識が未だに強い。いざというときの女性の負担が大きい。
- ・ 病児保育の制度があるから、子どもが病気の時には預ければいい、という考え方に親としてはなりにくい。
- ・ 子育てに手厚い事業者もあり、子どものために休みをとることが当たり前という考え方も徐々に広がり始めている。
- ・ 子育てのために休むことについては理解が広がっている一方、介護でのお休みについては理解が低い。どちらも理解されるべき理由。それぞれの立場を理解しようすることが大切。
- ・ 若い世代には「男性の主体的な育児」の意識が広がっているが、管理職の方などにまで浸透したとは言えない印象。
- ・ 管理職などは男性が多く、まだまだ浸透するのに時間がかかるのかもしれない。
- ・ 意識を変えるための研修、セミナーなどが大切。

【休暇制度、環境】

- ・ 育児休暇の制度についてはまだまだ整備されていない。
- ・ 人手不足は、どの事業者でも顕著な問題。大事な戦力を出産で失いたくない状況にあり、産後の復帰も進んでいる。
- ・ 突発的な休みに対応できる職場環境であることをPRしないと人手を確保できないような状況になっていることを事業者も感じている。
- ・ 少しずつ育児休暇も増えてきたが、男性の育児休暇はそこまで広がっていない。
- ・ 休みを取った際には、①他の職員にお願いする、②他の日程に変更するなどして対応をしている。
- ・ 仕事をフォローできる体制づくりは大手など人手がある事業者だからできる印象がある。
- ・ 専門制が高い仕事、資格職などは急に休みをとるということは難しいと思う。
- ・ 就職活動をするうえでは、女性の育児休暇取得率100%と多くの企業で書かれているが、実際にはいろいろな条件や、復帰後などいろいろな課題がありそう。
- ・ それぞれの職場環境が分かる、指標となるものがあるとよい。
- ・ 職場環境がよい事業者は減税されるような特典があると改善に向かうかもしれない。

宣言に盛り込む取組

「安心の職場づくりをすすめよう」

- ① 子育てへの理解のある職場づくり
- ② 職場の制度や体制の整備



3 相談・交流の場

意見交換内容

【子ども会活動】

- ・ 「めんどろ」 という負のイメージが先行しており、負担でしかないと感じている保護者も多い。
- ・ 昔のような雰囲気ではないので、時代に合わせた変化も大切。まずは、地域が楽しい、大人が楽しいと思える活動ができるのがよい。

【子ども向けイベント】

- ・ 公民館でもこども向けの活動を実施しているが、あまり知られていないのでは。
- ・ 学生が子ども向けに活動をしているが知られていない。
- ・ 子どものころは、映画をみんなでみるようなイベントが地域でされたりした。
- ・ 事業者さんが、そういったイベントのようなものを中心になって実施できないだろうか。
- ・ 市民講座みたいなかたちで、誰かが子どもたちに自然での遊び方を教えてくれるようなことができないだろうか。
- ・ イベントが必ずしも必要なわけではなく、自由に遊べる、集える空間があるといい。

【つながりの場】

- ・ 地域内で孤立しないように子育て中の方同士がつながるきっかけが欲しい。
- ・ 転入者にとっては、友達がいない、頼れる親族もいないという状況になりやすい。
- ・ 小学生までの間は、なかなか交流する機会がない。就学するとPTAや子ども会でつながりができたりする。
- ・ すくすくひろば等の地域子育て支援拠点のように話を聞いてもらえる場所、大人もほっとできる場所がありたい。
- ・ まずは、話を聞いてもらえることが第一であり、専門職の人でなくてもいい。気軽に話せる間柄をつくる必要がある。
- ・ おじいちゃんやおばあちゃんなど、あたたかく見守ってくれる人がそういった場の支援者としていてくれるといい。赤ちゃんから高齢者までが大切にされている空気が地域でも広がる。
- ・ 情報の収集が難しい場合もあるので、自治会単位での支援が必要になってくる。
- ・ 乳幼児の子育て家庭の交流の場は、すくすくひろばなどであるが、もう少し上の子どものいる親がつながる場があってもいい。

宣言に盛り込む取組

「集まる・つながる機会を大切にしよう」

- ① 大人が楽しみ、楽しめる活動・イベント
- ② 気軽に交流できる場づくり

4 情報発信

意見交換内容

【情報発信】

- ・ もっと子育てにかかる情報が欲しい。文字情報だけでなく、写真などでイメージができるといい。
- ・ いろいろな活動をそれぞれが実施しているが、一つの情報になっていない。
- ・ 公の情報だけでなく、民間の情報についても発信されている（一括で見ることができると嬉しい）。
- ・ 福知山の子ども向け、子育て関係の情報がまとまったサイト等があるといい。
- ・ 市のホームページは、情報が分かりにくかったり、探しにくかったりする。
- ・ 広報誌などは、イベント情報って欄が小さくて情報取得の手段になりにくい。
- ・ いろいろな子育て関係団体に情報がおいてくるが、もっと子育ての当事者に参加してもらえるようにすることが大切。

宣言に盛り込む取組

「みんなに情報を届けよう」

- ① 分かりやすい子育て情報の発信
- ② 事業者や地域の取組の啓発



■ 参考情報 (アンケートより)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 みんなの愛で「こどもまん中」のまちづくり | 15 こどもの可能性が無限大に広がる福知山 |
| 2 子育てしたい！と思えるまちに | 16 こども幸福度ナンバー1のまちづくり |
| 3 全ての世代の中に「こども」 | 17 子どもハッピーまち宣言 |
| 4 みんなで育てよう 福知山っこ | 18 ひとりひとりが輝ける子どものまちづくり |
| 5 大人もこどもも みんな笑顔で いいまち福知山 | 19 子どもと幸せあふれる未来へ |
| 6 こどもファーストが 福知山を元気にする | 20 こどもファースト みんなファースト |
| 7 みんなで 子育て 福知山 | 21 こどもは未来のたからもの |
| 8 目指せ チルドレンファースト | 22 こどもは地域のたから みんなで育てよう |
| 9 こどもまんなか みんなまんなか | 23 子育て社会 日本一 |
| 10 共に育み育つまち 福知山 | 24 こどもも親も支えるまちづくり |
| 11 共に育む 共に幸せを生きる | 25 子どもの笑顔を広げよう |
| 12 みんなで子どもをつつみこむまちに | 26 子育てするなら福知山 |
| 13 こどもの笑顔 共に広げよう安心なまちづくり | 27 こどもがまんなか 未来へつなぐ たからもの |
| 14 みんなで育てよう子育ての輪 | |

